

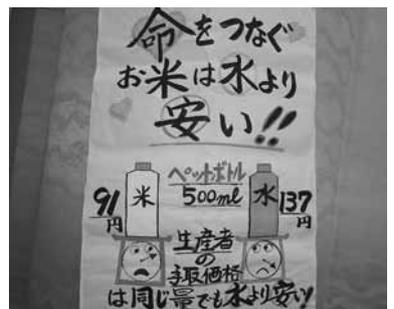


鈴木 道夫 議員

民主党農政・自由化路線の転換を図れ

Q 民主党政権になって1年、米価下落など現場は混乱と怒りに包まれている。
①市長は、この民主党の農政をどう評価しているか。
②日本共産党は、米をはじめとする主な農産物の価格補償を農政の中心に据え、貿易自由化すべきでないとの立場であるが、市長はそのような姿勢に立っていないか。
③市の農業基本構想や水田農業ビ

ジョンでは、一定の要件を満たした農家のみを担い手としているが、本来すべての農家が担い手であり、要件など必要ないのではないかと、また、経営の合理化のネックとなっているのが機械へのコストである。担い手にかかわらず、機械の共同購入、共同利用に市独自の支援をしてはどうか。
A ①これまでの価格補てんから戸別所得補償制度に移行途中であ



米の安さに抗議

り、動向を見定めていく。
②自由経済の中で価格補てんは、補助金のばらまき、この批判もある。世界の動向は貿易自由化であるが、それに対応できる農業政策が先であり、TPPなど今はその段階でない。
③農業へ取り組もうとする熱意があれば、老若男女誰でも担い手と考える。また、集落営農など組織化を進めることで、機械への助成の道が開けると思う。



佐藤 文男 議員

公の施設使用料平準化の影響は

Q 受益者負担の適正化を図ることを目的に、公の施設使用料の平準化を進めようとしている。県立高校の部活動に対する影響は。
A 70%減免となり激変緩和が終了する5年後の1迫商業高校では、24万円となる。
Q 今後も100%減免を。
A 施設の維持管理にコストがかかる。利用者の公平性から高校生が利用する場合にも一定の負担を



雪解けを待つ一迫球場

してもらおう。
Q 私立幼稚園が文化施設を利用する場合は。
A これまでの50%の減免から100%の減免となる。
Q 文化協会や体育協会加入団体は、これまでどおり100%減免にすべきでは。
A 利用者負担の公平性から料金平準化の趣旨を踏まえ、各団体にも負担をお願いするものである。

Q 有料化でどれだけの収入を見込んでいるか。
A 見直し前が780万円、見直し後は730万円と50万円の減額になる見込みである。
道路愛護と不法投棄対策
Q 旧町村で対応に違いはないか。
A 基本理念は自主ポランティアであり、地域の判断で積極的な取り組みを期待する。



菅原 勇喜 議員

最低制限価格ピットリはなぜ

Q 築館中体育館、若柳中学校舎建築工事がいずれも最低制限価格ピットリ、1円の違いもなく落札された。市の感想は。
A 業者間の適正な価格競争による入札結果である。
Q 落札業者の積算見積書の提出時期、見積額は。
A 入札時に提出され、見積額は入札金額と同額である。
Q 予定価格、最低制限価格の決

定は、誰が、いつ行うのか。
A 副市長が入札日に作成する。
Q 最低制限価格を設けた以上は、こういうピットリの数字が出てくる。今後、運用についても少し幅を持たせないと駄目かな、という反省をしている。
Q 過去3年で100%一致して落札した件数は何件か。
A 予定価格と同額の件数は、平成20年度から25件、13件、10件で

ある。最低制限価格と同額落札件数は、平成20年度から3件、8件、10件、総計69件である。
このほか、新年度の予算編成に当たって、住宅リフォーム助成制度の創設、子ども医療費助成制度の所得制限程度廃止を求め、市長から前向きに検討するとの答弁を得た。また、若柳地区幼稚園の再編と民営化による運営について



建て替えられる若柳中学校

議員研修会を開催

1/14



講演を行う福田氏

演題
議会基本条例の制定と
今後の課題

講師
陸前高田市議会
議会運営委員会
委員長 福田 利喜 氏

「議会基本条例」は、市長とともに二元代表制の一翼を担う議会が持てる権能を十二分に発揮し、市民の代表として議会活動を活性化させ、市民福祉の向上のため真摯に任務を行うために必要なものであると講演されました。

インターネットで議会を中継

インターネットで議会の様子を閲覧できます。

閲覧方法

- ①栗原市のホームページにアクセスします。
(<http://www.kuriharacity.jp/>)
- ②画面の左側「議会情報(4)」の下にある「会議録・議会中継の閲覧」をクリックします。
- ③移動したページで、「栗原市議会 議会中継」のサイトに移動」をクリックします。
- ④ライブ中継を閲覧する場合は、「ライブ中継を見る」をクリックします。録画中継を閲覧する場合は、「録画中継を見る」をクリックします。

どなたでも請願や陳情ができます

どなたでも、市政に対する要望や意見を議会に提出できます。

提出された請願や陳情は、それぞれ所管の委員会で慎重に審査され、採択されたものは、市長にその実現を要望したり、関係機関に意見書などを提出したりします。

消防団員の確保は



いしかわ しょうろん 議員
石川 正運 議員

Q 身近な安全、安心を支える消防団。火災、災害時の救援、救助に備えるため団員の確保と消防力の強化に力を注ぐべきではないか。市の消防団条例における定員は2050人であるが、現在の団員数と充足率は、
今後の団員確保対策として、事業所などの連携や広域的連携を図るとともに、若い市職員が入団することで、若者の団員確保につ



我々の命を守る消防団

A 上げていくべき、と思うがどうか。あらゆる機会をとらえ、市民に呼びかけ入団促進に努める。現在の団員数は、1921人で充足率93・7割、うち女性団員は97人となっている。
団員確保および活動の活性化を図るため、企業の協力体制の構築は必要不可欠である。また、市職員の入団は、本来の業務に支障のない範囲で協力的体制づくりを検討

Q していく。住宅用火災警報器の設置について義務化された。一人暮らしや二人暮らしの高齢者世帯の設置状況と未設置世帯への普及推進は。
A 設置済が1万9411戸、未設置が2421戸、未確認が1071戸である。今後も婦人防火クラブや自主防災組織などと連携し、高齢者世帯も含め、普及推進にあ

私もひとこと

こんな栗原にしたい



さとう みつよし
佐藤 光良さん
(一 迫)

私の栗原に対する思いを「こんな栗原にしたい」という形で、以下に述べさせていただきます。

若い人たちはもちろん、働き盛りの人たちや高齢者にも、働く場が市内や周辺にあり、工場誘致だけでなく栗原の良さを生かした職場が多くなる地域にしたいです。

栗原は、宮城県の中でもおいしい米の産地です。この強みをさらに伸ばしていくことです。栗原の大地の恵み、本物のいのちの糧を消費者に届け、相互に交流できる地域にしたいです。

市民一人一人がありのままの自然体で、争うことなくお互いに尊重し、信頼し助け合って暮らしていける地域にしたいです。

私たちの身体が本当に喜ぶものを食べ、高齢であっても働きたい人には働ける場があり、社会とのつながりを持ち、寝たきりにならないような健康づくりができる地域にしたいです。

どうなるの 孫への子ども手当

現行1万3000円に7000円上乗せして2万円の支給(3歳児まで)を予定している子ども手当の保護者現金支給は、はたして子どもたちのために使われるのかが疑問です。

保育施設整備などが追い付かず、待機児童が増えたり、給食費の滞納問題やお金があっても滞納する親がいたり、むしろ施設整備や給食の補助など、弱者救済と想っている予算執行とは思いますが、使い方はいろいろあると思います。

本質の「健やかな育ちを支援する」目的が横道にそれるようではいけないと思います。確実に子どもたちのために私たちの税金が使われることを望みます。また、この使われている税金がすべての国民のつげとして、後世に残ることも忘れていけないことだと思います。いずれにしても、曇りガラスを手で拭いて未来を見ている気がするの、私だけでしょうか。孫への小遣い(子ども手当)の見直しを期待しています。



つとう ふみこ
津藤 富美子さん
(瀬 峰)



新春を皆様とともに慶びたいと思います。

地球温暖化が進むなか、気候異変が全世界で起こり、自然界の営みにも少しずつ変化が生じています。また、災害の多発と大規模化に常に向き合わなければいけません。人々が勇気と知恵を出し、地球温暖化を抑える対策、さらに災害に備える地域づくりが必要です。

今年卯年、どんな年になるのか。すべての面で飛躍する良き年になることを願わずにはられません。

富塚 正夫

議会広報編集調査特別委員会

- 委員長 瀬戸 健治郎
- 委員 千葉 健司
- 委員 大瀧 信子
- 委員 阿部 貞光
- 委員 三塚 貞東
- 委員 佐藤 文男
- 委員 大関 健一
- 委員 富塚 正夫
- 委員 阿部 敏
- 議長 小岩 孝一